

LPガス関係被害状況報告

(第 報) 年 月 日 現在

販売所名称	〇〇株式会社〇〇営業所
電話	000-000-0000
報告者氏名	宮城 太郎

報告書記入にあつての注意事項

- 被害がなくてもご提出ください。
また、第1報は被害全体が把握できていなくても判明している範囲で出来る限り速やかにお願ひいたします。
- FAX・メールが使用不能の場合、電話で報告をお願いします。
- 第1報後、新たに被害が判明した場合、または前回の報告から数字が変更になった場合は2報、3報を送付してください。

1. 自社の被害(被害の有無に○をつけてください。有りの場合は概要を記載)

項目	被害の有無	詳細
事業主・従業員の安否	無事 / 有事	(被災の人数や程度)
事務所の被害	無 / 有	(被害の程度) 床上浸水により、パソコン2台、帳簿類が水没
容器置場・充填所	無 / 有	(被害の程度) 充填所は所有しない。容器置場の屋根が強風により破損
スタンド	無 / 有	(被害の程度)
車両	無 / 有	(被害の台数や程度) 配送車が一台水没。修理困難のため、廃車予定。
バルクローリー車	無 / 有	(被害の台数や程度)

災害被害報告では、全戸供給再開まで状況を確認し続ける必要があるが、水害等で家屋全体が甚大な被害が出た場合や、長期避難者や、立入禁止区域内などを含めて復旧の状況確認を行うと状況確認が長期化するため、そのような場合を分母から除くために、BとCを記載している。つまり、Dは、迅速に復旧可能となる消費先に限定するためのもの。例によれば、1000戸の消費先のうち、70戸の被害確認、復旧確認は長期化するため、930戸に対しての被害報告を行う。

C	立入禁止等の理由により、被害状況の確認が出来ない世帯数(概数記載可)	50戸
D	上記以外の世帯数【A-(B+C)】(被害なし、復帰済み、復帰見込み等)	930戸
Dの内のLPガス設備被害状況と未復旧数	E ガス漏れ・爆発・火災のあった件数	15戸
	F Eの未復旧件数	3戸
	G Eの未復旧件数	300戸
	H Gのうち、未復旧件数	5戸

未確認世帯数【C】および未復旧件数【F】及び【H】がゼロになるまで、報告をお願いします。

Eは容器の流出によるものはガス漏れに含みません。

2報、3報を送付時に、新たに被害が判明した場合、E、Gは前回報告の数字に積み上げてご記載ください。復旧後も数字は減じないこと。

【E ガス漏れ・爆発・火災の被害の詳細】 ※ 発生場所(市区町村名)、発生日時は必ず記入

ガス漏れ3件について

1件目:〇〇市〇町、飛来物により、高圧ガスホースが破損。現在供給停止中。二次被害なし。発生日は〇月〇日〇時(推定)。

復旧予定日は〇月〇日。

2件目:〇〇市〇町、水害により配管破損。現在供給停止中。二次被害なし。発生日は〇月〇日〇時(推定)。復旧予定日は〇月〇日。

3件目:〇〇市〇町、消費先の内管が破損。現在供給停止中二次被害なし。発生日は〇月〇日〇時(推定)。復旧予定日は〇月〇日。

容器流出は数字に変化があれば報告いただきたい。

3. 容器の流出(判明している限りで構いません。転倒等はカウントしません。)

消費先軒先からの流出・埋没本数	流出	3本	うち、累積回収本数	流出	3本
	埋没	0本	うち、累積回収本数	埋没	0本
その他(充填所・貯蔵施設・容器置場等)からの流出・埋没本数	流出	0本	うち、累積回収本数	流出	0本
	埋没	0本	うち、累積回収本数	埋没	0本